

フィリピン・

カオハガン島 研修を終えて・・・



私は、海外に行ったことはあったのですがそれは小さいときで何も記憶がありません。でも家に外国のお金があり興味がありました。でも、短大であったため実習やバイトの日々でなかなか海外研修に応募することができませんでした。今回、4年大に編入することに決めたため長期の休みを使っていくことにしました。

研修に行く前に崎山さんのことやカオハガン島のことについてネットや本で調べたり、英語の勉強をたくさんしました。

私は今まで何も考えずに親のルールに乗って生きてきました。3月11日に起きた東日本大震災が起きてからあたりまえの生活や命の感謝に出身地であったためより強く感じました。でも札幌はビカビカと電気がついていてとても明るい場所です。忘れてしまう時が多々ありました。再度自分の生活を認識するため、今後の何を考えて歩んでいったらいいのかなど自分にかけている部分を探しに行きました。

夜中天候が悪く船に揺られながら島に着き、移動の疲れですぐ寝てしまいました。

次の日の朝涼しい風が部屋の中に入ってきて目が覚めました。外に出ると島民たちは潮の引いた海に家族みんな出て、ゆっくり歩きながら歩きまわりながら、そ



の日の分のおかずを探していました。そして1日がスタートするそうです。

最初は緊張していて日本語をつかって友達と話したり、きれいな風景や島民たちの生活などを写真に撮っていました。思い切って習ったビサヤ語をつかってみたり一緒にゲームの中に参加してみるとみんな暖かくてこんな自分をすぐ受け入れてくれました。言葉が通じなくてもジェスチャーなどでなんとか伝え過ごすことができました。



た。

広大な海に囲まれ、無限の自然に直接つながっている世界を

初めてみました。

ホームステイは初めての経験でした。日本とあまり変わらない食事であったため美味しく頂くことが出来ました。掃除や食器洗いを
していつもとの違いに気がつきました。



日本では掃除の時電気を使って機械にお任せをしていたり食器洗いやお風呂の時蛇口をひねって使い放題でした。何も自分に危機感がないためこのような生活をしていました。きっと通常より異常であったと思います。日本に帰り当たり前の生活にもどったのですが
気をつけて生活を今もしています。



初めてココナッツオイル作りをしました。触ってみるのも食べるのも自分の勝手な想像で食わず嫌いでした。1からの作業に驚きました。

小学校訪問をしたときの写真です。小学校実習は終



えていたため子ども達の反応や促し方は人より出来ていたと思います。子ども達は笑顔がとても素敵で素直でした、きっと全国共通で
あると思います。



たくさんの幸せの時間をありがとう。と再度伝えたいです。日本に帰ってきて今も facebook でつながっています。これから募金をするだけではなく現地へ直接行き手渡しをしていきたいです。

